

2022年5月23日

「さらだぼーる農園」の開園 ～障がい者雇用促進を目指して～

当社は、地域の障がい者雇用の更なる促進につながる取り組みとして、「さらだぼーる農園」を開園し、2022年5月19日に開園式を行いました。

本年4月からスタートした中期経営計画において、サステナビリティの重要課題の1つとして「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進」を掲げており、多様な人材の就業機会創出に取り組んでいます。その一環として、2022年4月に採用した障がいのある社員2名を中心に水耕栽培農業をスタートさせたところです。農園の運営にあたっては、障がい者雇用支援サービスを提供する株式会社エスプールプラス（本社：東京都千代田区）の協力を得て、同社が運営する農園（わーくはびねす農園市原第2ファーム）内に、当社農園を開園しております。

当社では、多様性を認め合い、互いを活かし合うことで、一人ひとりが自分らしく活躍できる組織を目指しています。社員からの公募により決定した「さらだぼーる農園」という名称についても、新鮮で美味しい野菜を提供するという農園の目標を表すとともに、障がい者と健常者、ジェンダーといった垣根をなくして互いに協力し合いながら働く姿を、多様な野菜が一つの器（ぼーる）のなかで混ざりあって、さらに美味しくなる様子に例えて表しているものです。障がいの特性に合わせた仕事内容や役割を設定するだけでなく、きめ細かいフォロー体制を構築するとともに柔軟な働き方を可能とする選択肢を設けるなど、一人ひとりが活躍しやすい就業環境の整備に取り組んでいます。これからも、多様な人材の雇用、地域社会への貢献を通して、持続可能な社会の実現につながる将来の価値創造を目指してまいります。

「さらだぼーる農園」概要

- 【場所】 千葉県市原市
- 【設備】 ビニールハウス（約272㎡）、共用設備：収穫室、保存庫、ミーティング室、休憩室他
- 【運営】 障がい者2名・健常者1名（2022年5月現在）による水耕栽培農業

(開園式にて)



(播種の様子)



以上